

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 5 月 19 日現在

機関番号：14101

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19K00951

研究課題名(和文) 米国議会図書館蔵忍術関係史料の研究

研究課題名(英文) Research on the Ninjutsu Documents at the Library of Congress

研究代表者

山田 雄司 (Yamada, Yuji)

三重大学・人文学部・教授

研究者番号：90314103

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,500,000円

研究成果の概要(和文)：米国・ワシントンDCにある米国議会図書館トーマス・ジェファソン館において、2019年8月、2022年8月の2度にわたり、兵法書の調査・写真撮影を行った。調査対象とした兵法書は、米国議会図書館蔵日本古典籍目録刊行会編『米国議会図書館蔵日本古典籍目録』(八木書店、2003年)17武学・武術B兵法より、忍術関係であると予想される書目を選んで行った。こうした書目は、陸軍参謀本部や陸軍士官学校旧蔵本で、敗戦後GHQにより接收されて米国に渡り、米国議会図書館所蔵となったものである。このなかの『智謀拔萃』『軍配要目集』『武教全書正解』などからは、これまで知られていない忍びのあり方や忍術を発見した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

旧陸軍関係所蔵で、現・米国議会図書館蔵書となっている兵法書の中に、忍術関係の史料が残されており、そこには忍びの姿や忍術に関する記述があることを確認できた。米国議会図書館蔵の兵法書については、目録によって書目は知られているものの、内容について調査されたことがないと思われるので、初めての調査だったと言える。そして、その中には日本に存在していない兵法書もあり、注目される。そして、この調査は、これまで日本国内のみで調査されてきた兵法や忍術に関わる史料について、海外でも存在していることを予想させ、グローバルな視点からの今後の調査の必要性を提起するものである。

研究成果の概要(英文)：I conducted two surveys and photographs of military art books at the Thomas Jefferson Library of Congress in Washington, DC, USA, in August 2019 and August 2022. The survey was conducted by selecting books expected to be related to ninjutsu from the "Catalog of Japanese Rare Books in the Library of Congress" (Yagi Shoten, 2003), 17, "Martial Arts and Martial Arts B: Art of War," edited by the Library of Congress. These books were formerly owned by the Army General Staff Headquarters and the Military Academy, and were confiscated by GHQ after the defeat in World War II and transferred to the U.S., where they are now in the collection of the Library of Congress. From these books, such as "Chibou Bassui," "Gunbai Yomoku-shu," and "Bukyo Zensho Seikai" (A Comprehensive Compendium of Ninjutsu), I discovered previously unknown methods of ninjutsu and ninja techniques.

研究分野：日本中世史

キーワード：忍者 忍術 米国議会図書館 兵法

1. 研究開始当初の背景

(1) 忍者・忍術研究は最近学術的研究が開始された新しい分野である。この研究の基礎を固め、軌道に乗せていくためには、基礎的な史料の調査・検討が欠かせない。とりわけ、米国議会図書館に所蔵される文書群は、戦前陸軍が所蔵していた写本類で、ここにしか現存していないものが数多く見られる貴重な文書群である。しかし、外国の図書館所蔵ということで、これまで目録が作成されているだけであって、内容については全く知られていない。そこで、本研究においては米国議会図書館所蔵の忍術関係史料について調査・写真撮影を行い、その書誌的情報、および内容の検討を行っていく。

(2) 忍者・忍術に関して学術的研究が行われるようになったのは、2012年6月、三重県伊賀市に「三重大学伊賀連携フィールド」が設置され、三重大学人文学部・上野商工会議所・伊賀市が連携して、伊賀地域の研究に取り組み、研究が開始されたことによる。これまで忍者に関してはさまざまな書物が出版されているが、それらは何を根拠にして書かれているかわからなかったり、忍術書に書かれている内容をそのまま信じていたりして、学問と言えるものではなかった。また、そもそも忍者を研究することは学問に値しないという固定観念があったためか、学術的研究はほとんどなされてこなかった。そこで、史料的根拠をしっかりとたなければならないことを認識し、典拠を明確にして、さらには書かれているからそのままそれを信じるのではなく、史料批判をしっかりと行った上で史料を利用することに努めてきた。

(3) 申請者はこれまで伊賀流忍者博物館をはじめ、熊本県立図書館、佐賀県立図書館、松本城管理事務所、蓬左文庫、小田原市立図書館、国立公文書館、国文学研究資料館、国立国会図書館、東京大学史料編纂所、東北大学附属図書館、さらには個人宅など、国内において積極的に史料調査を行ってきたが、米国議会図書館蔵日本古典籍目録刊行会編『米国議会図書館蔵日本古典籍目録』(八木書店、2003年)の存在を知り、米国議会図書館には近世に作成された多数の兵法書が所蔵されていることがわかり、その中には忍術に関する記述があることが予想される。そこで、この文書群を調査することとした。

2. 研究の目的

(1) 日本国内の史料は比較的容易に調査できるものの、外国に所蔵されている史料については、非常に良質なものであるにもかかわらず紹介されていない場合が多い。米国議会図書館には明治以前の日本古典籍が4,800点余り、冊数にして15,000冊余りが所蔵されており、この史料群は、元米国議会図書館職員本田正静氏によって、1990年代初頭から整理が行われ、『Japanese Literature, Performing Arts, and Reference Books/ A Bibliography』(小西甚一監修、1996年)及び『Japanese Mathematics』として議会図書館より目録が刊行されて、閲覧も可能になっていたが、渡辺憲司によって1998年度から3年間にわたる科学研究費助成金による調査が行われ、全体を網羅した米国議会図書館蔵日本古典籍目録刊行会編『米国議会図書館蔵日本古典籍目録』(八木書店、2003年)として出版されるに至った。そして、一部日本文学関係の写本については紹介・研究が行われている。

(2) その中で、『米国議会図書館蔵日本古典籍目録』には兵法関係史料として363点紹介されている。本書の解説において、戦中・戦後の混乱期に日本国内で散逸し『国書総目録』に書名のみをとどめている書目がこの図書館の蔵書中に多く存していること等は特筆大書すべき事柄であるだろう。さらに、ワシントン・ドキュメント・センターから譲渡された旧陸軍本のなかには、兵法関係の稀覯本が多く含まれており、本田氏が整理された和算関係のまとまったコレクションや豊富な北方史資料などとあわせ、世界的にも注目される蔵書といえるであろう。と述べられているように、貴重な米国議会図書館蔵本の中でも兵法関係の写本は、他に存在が確認されていない孤本であり、非常に価値の高いものである。そうした兵法は忍術との関係が非常に強いものである。

(3) 兵法と関連する写本類としては、武具・剣術・鎗術・弓術・馬術・柔術・火術などの多数の史料が所蔵されている。これら史料は、陸軍士官学校、陸軍参謀本部、予科士官、陸軍幼年学校、陸軍中央幼年学校、大阪陸軍幼年学校、熊本陸軍地方幼年学校、仙台陸軍地方幼年学校など旧蔵書で、目録により書名はわかるものの、内容についてはこれまで全く報告されておらず、陸軍関連施設に所蔵される以前の伝来も不明である。このように、本研究は、これまで手が付けられておらず、かつ重要な文書群である米国議会図書館蔵忍術関係史料の研究であり、忍者・忍術研究や兵法研究は言うに及ばず、さらには戦前軍部においてどのような研究が行われていたのかといった新たな発見が数多くあることが予想される。

3. 研究の方法

(1) 米国議会図書館蔵日本古典籍目録刊行会編『米国議会図書館蔵日本古典籍目録』(八木書店、2003年)の兵法書の部分の書目から、忍術に関係すると考えられるものを抜き出し、閲覧希望を提出して、2019年、2022年の2度にわたり大学院生の福島嵩仁氏とともに米国議会図書館を訪れて、閲覧・写真撮影を行った。

(2) 撮影した写真について内容の検討を行い、忍術のことについて記される重要な書目については翻刻を行った。

4. 研究成果

(1) 陸軍参謀本部図書館旧蔵でGHQにより接收された兵法書等のうち、『雄鑑司職辨義』『城取極意九箇条』『軍鑑夜戦之巻』『家内獨見書』『備変口決』『軍監斥候大事』『新篇斥候之法』『古法軍器』『孫武兵法副言』『均馬仙翁秘書』『師鑑抄忍之巻』『智謀拔萃』『虎巻策』『城取極意九ヶ条之事』『雄鑑抄』『軍敗要目集』『武経全書正解』『士鑑用法』『士鑑用法秘訣完』『士鑑用法秘訣全』『士鑑諺解』『武明論』『極要集』『稲田感状記』『国雄師之答』『易城全書』『足軽家伝』『足軽之巻』『寄正変談之論』『軍決要目集』『省愚百首』『空穂之巻』『大坂冬陣首帳之覚』『軍髓要覧』『軍髓要覧問答抄』『日置流射儀初学式』『六韜抄』『軍法之巻并抄』『匹夫之功百ヶ条』『諸先生口伝』『出陣人数積』『軍利百箇條』『螺之巻』『龍象軍歌』『軍法秘要集』『輕卒左右巻』『六韜諺義』『七書諺義』『軍配小勇巻』『軍配小勇巻拔書』『軍配小勇巻追加拔書』『軍詞巻』『兵要職分畧解』『軍書適要』『者頭武功覚書』『軍法之巻兵抄』『兵書全郭許可書』『武将百條伝』『出陣留守之法』『義経軍歌百首』『武備淵源録』『兵要録補闕』『攏勝実伝』『北条兵法城割図』『理数論』『髓要百詠』『正伝談話覚書』『沓之切紙大事』『軍敗兵法』『軍敗覚書』『一騎要法伝』『大坂夏御陣図』『大坂冬御陣図』『軍法拔萃抄』『軍教之巻』『闡義世則』『金澤遺書・八陣図説諺解』『軍旅侍功鈔』『軍要集伝記』『出陣門作法』『武法軍鑑』『武法軍鑑目録』の写真撮影を行い、その内容について検討を行った。

(2) 2019年12月18日NHK津放送局のまるっと！みえ「世界で人気 忍者研究最前線に迫る」、2020年1月24日NHKおはよう日本「世界で人気 忍者研究最前線に迫る」、1月22日NHK歴史秘話ヒストリア「われら忍者甲賀にあり 忍び込め！ヒトの心」で紹介されたほか、NHK WORLDにおいて世界に向けて発信された。

2024年2月1日放送のNHK WORLD-JAPAN「NINJA TRUTH」“Episode 24: The Forefront of Ninja Research”で、米国議会図書館での調査により発見した、描かれた忍者や忍術の方法について解説した。

(3) 2022年4月23日、三重大学伊賀連携フィールド忍者・忍術学講座において、「米国議会図書館蔵史料からわかった忍者」と題した市民向け講演を行い、YouTubeで配信も行っている。ここでは、『軍敗要目集』『武教全書正解』などから、「忍び」に関する定義、これまで未発見の暗号作成方法、忍びがマキピシを撒いている図などを紹介し、忍びに関する新知見を明らかにした。また、『三重大史学』第23号(2023年3月)に『軍敗要目集』を翻刻し、解題を付して掲載した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 山田雄司	4. 巻 20
2. 論文標題 忍術の実際	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 三重大史学	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田雄司	4. 巻 22
2. 論文標題 堀尾期松江藩の忍者	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 三重大史学	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田雄司	4. 巻 39-3
2. 論文標題 忍者の虚像と実像	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 神経治療学	6. 最初と最後の頁 121-124
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15082/jsnt.39.3_121	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田雄司	4. 巻 23
2. 論文標題 【史料紹介】米国議会図書館所蔵『軍敗要目集』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 三重大史学	6. 最初と最後の頁 1-67
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計4件

1. 著者名 三重大学国際忍者研究センター、山田雄司	4. 発行年 2020年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 240
3. 書名 忍者学講義	

1. 著者名 三重大学国際忍者研究センター、山田雄司	4. 発行年 2022年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 240
3. 書名 忍者学研究	

1. 著者名 山田雄司	4. 発行年 2022年
2. 出版社 BABジャパン	5. 総ページ数 204
3. 書名 実践！忍術の手引き	

1. 著者名 山田 雄司、三重大学国際忍者研究センター	4. 発行年 2023年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 560
3. 書名 忍者学大全	

〔産業財産権〕

〔その他〕

「米国議会図書館所蔵史料からわかった忍者」三重大学伊賀連携フィールド2022年度前期市民講座、2022年4月23日開講、YouTube配信
(<https://www.youtube.com/watch?v=XC-0Vmp6fMQ>)

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------